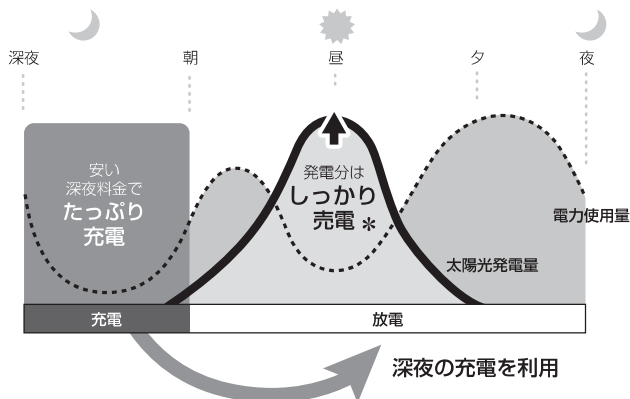


■ 深夜電力活用：

充電を電気料金が割安な深夜時間帯に、放電を昼間の電気料金が高い時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。

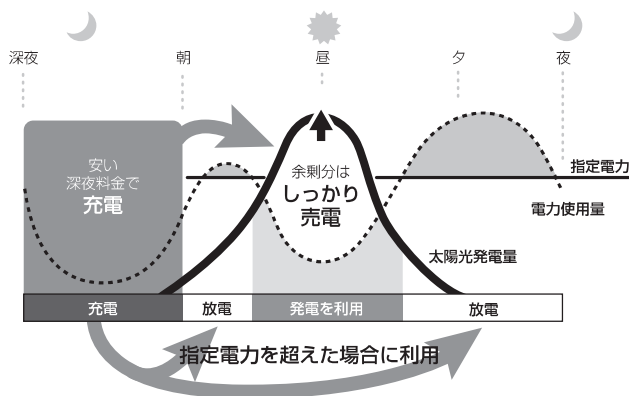


- * 電力消費が蓄電池の定格2.0 kWを超える場合は、不足分を太陽光発電で補います。
- * 蓄電池容量がなくなった場合は太陽光発電で補います。

■ ピークカット：

設置時に指定した電力を超える場合は、超えている分を蓄電池から放電し、電力消費のピークをカット*します。放電時間帯を電力消費が多い時間帯に設定します。

※ ピーク抑制電力の初期設定値は、5 kW です。設定値変更は、「設定情報（詳細）」（P.25 ページ）から実施してください。



● 押し上げ設定「有」 / 「無」 共通運転モード

■ 充電：

時間帯に関係なく、蓄電池への充電のみを行い、家庭内負荷への電力供給（放電）を行わない設定です。蓄電池がフル充電状態になり次第、充電動作を終了します。動作終了後は待機状態になります。

■ 放電：

時間帯に関係なく、蓄電池から家庭内負荷への電力供給（放電）のみを行い、蓄電池への充電を行わない設定です*。充電量がなくなり次第、放電を終了します。動作終了後は待機状態になります。

※ 押し上げ設定「無」の場合は、売電中は蓄電池からの放電は行いません。

■ 待機：

時間帯に関係なく、充放電を行わないモードです。充放電を止めたい場合に設定します。通常は使用しません。

※ 運転モードが手動運転モードに設定されている時に、室内リモコンの電源を OFF したあと再度、室内リモコンを起動した場合は、自動運転モードに切り替わります。

※ 蓄電池が使用できなくなることを防ぐため、放電や待機に設定をした場合でも以下のとおりの動作を行います。

- 充電量が少なくなった場合は、直前に設定されていた自動運転モードの充電開始時刻から充電を開始します。
- 待機または放電に設定してから 24 時間経過後に、直前に設定されていた自動運転モードに切り替わります。

非常時（停電時）の設定をする

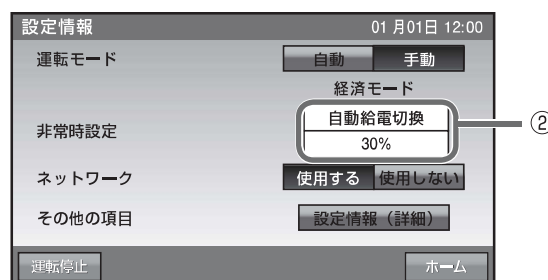
もしも停電になったときのために、非常時設定や非常時安心設定をお客様のお好みに合わせて選択してください。

- 製品出荷時の設定は次のとおりです。
「非常時設定」：[自動給電切換]
「非常時安心設定」：[30 %]

- ① 設定情報画面に切り替える
[設定]をタッチします。



- ② 非常時設定を選択する
設定したい項目をタッチします。

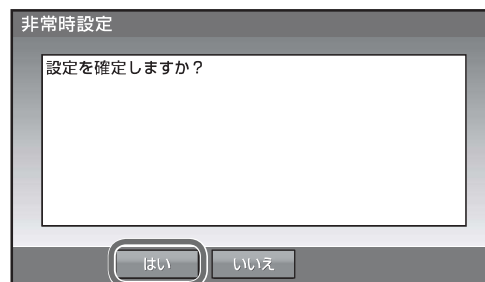


- ③ 設定を変更する
◀/▶をタッチします。

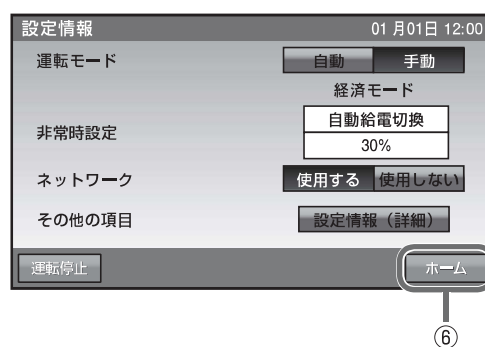
- ④ 変更した内容を確定する
[確定]をタッチします。



- ⑤ 設定を保存する
[はい] をタッチします。



- ⑥ ホーム画面に戻る
[ホーム] をタッチします。

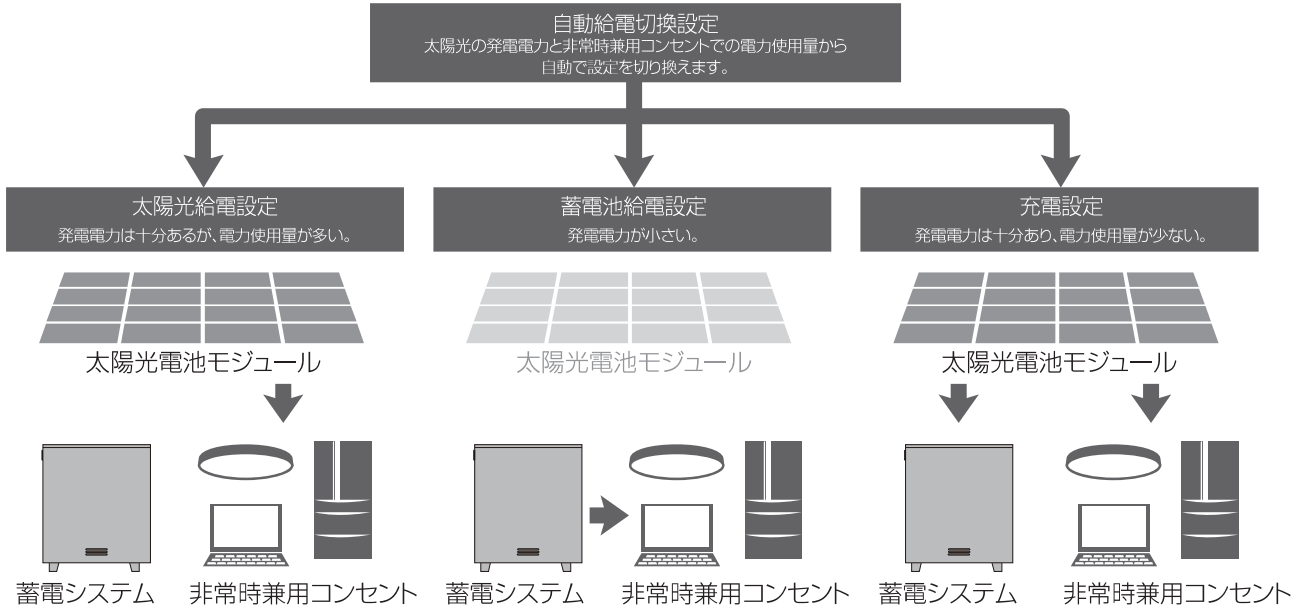


| | |
|---------|---|
| 非常時設定 | 次ページをご覧ください。 |
| 非常時安心設定 | <p>停電時に蓄電システムから非常時兼用コンセントへの給電ができるように、通常時の利用を指定蓄電池残量までに制限する設定です。指定蓄電池残量を下回ると給電を停止します。</p> <p>指定できる蓄電池残量は0(OFF)、30%、40%、50%、60%、70%です。蓄電池残量が設定値+5%未満の場合、誤作動防止のため、給電を開始しません。</p> |

(次ページに続く)

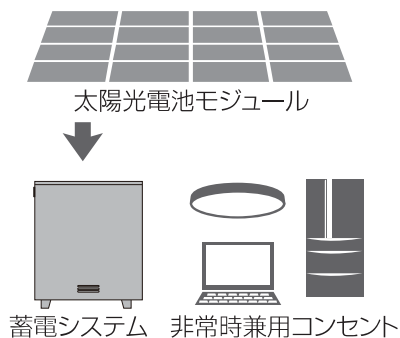
非常時設定について

注：太陽光パワーコンディショナは、自動で自立出力の ON、OFF を行いません。
太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、停電直後、復電直後は操作してください。



- 自動給電切換設定は、太陽光給電設定、蓄電池給電設定、充電設定を太陽光の発電電力と負荷電力を判断しながら自動で切り換えます。最も利用しやすい設定です。
 - 太陽光給電設定は、太陽光から非常時兼用コンセントに給電（最大 15 A：1500 W）を行います。蓄電システムから非常時兼用コンセントへの給電、太陽光から蓄電システムへの充電は行いません。太陽光の発電電力が小さい場合、家電製品を稼働できない場合があります。
 - 蓄電池給電設定は、蓄電システムから非常時兼用コンセントに給電（最大 20 A：2000 W）を行います。太陽光から蓄電システムへの充電、非常時兼用コンセントへの給電は行いません。
 - 充電設定は、太陽光から非常時兼用コンセントへの給電（最大 15 A：1500 W）、蓄電システムへの充電を行います。
- 非常時兼用コンセントでの消費電力が大きいと、充電できない場合があります。太陽光の発電電力が小さい場合、非常時兼用コンセントへの給電、蓄電システムへの充電ともできない場合があります。

強制充電設定



- 強制充電設定は、太陽光から蓄電システムへの充電のみ行います。非常時兼用コンセントへの給電は一切行われません。